【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【公開番号】特開2017-153825(P2017-153825A)
【公開日】平成29年9月7日(2017.9.7)
【年通号数】公開・登録公報2017-034
【出願番号】特願2016-41609(P2016-41609)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　3/024　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　3/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　3/10　Ｒ
Ａ６１Ｂ　3/02　Ｆ
Ａ６１Ｂ　3/14　Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成31年2月5日(2019.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の眼科検査装置によって取得された被検眼の画像データを処理する眼科画像処理装置であって、
第１の眼科検査装置によって取得された被検眼の画像データである第１の画像データと、第２の眼科検査装置によって取得された画像データである第２の画像データとを重ね合わせたレジストレーション画像を作成する画像処理手段と、
前記レジストレーション画像を構成する前記第１の画像データ及び前記第２の画像データにおける画像種別を設定する設定手段と、
を備え、
前記画像処理手段は、前記設定手段によって設定された画像種別に対応する前記第１の画像データ及び前記第２の画像データを重ね合わせたレジストレーション画像を作成し、出力することを特徴とする眼科画像処理装置。
【請求項２】
前記設定手段は、さらに、前記レジストレーション画像の作成において、前記第１の画像データと前記第２の画像データを重ね合わせる順番を設定変更可能であり、
前記画像処理手段は、設定変更された順番に基づいてレジストレーション画像を作成することを特徴とする請求項１の眼科画像処理装置。
【請求項３】
前記設定手段は、さらに、前記レジストレーション画像の作成において、前記第１の画像データと前記第２の画像データの少なくともいずれかの透過率を設定変更可能であり、
前記画像処理手段は、設定変更された透過率に基づいてレジストレーション画像を作成することを特徴とする請求項１～２のいずれかの眼科画像処理装置。
【請求項４】
前記画像処理手段は、前記レジストレーション画像と、前記レジストレーション画像とは異なる他の画像とを含むレポートを作成することを特徴とする請求項１～３のいずれか

の眼科画像処理装置。
【請求項５】
前記画像処理手段は、
前記第１の画像データとして、第１の眼科検査装置によって取得された被検眼のマップ画像である第１のマップ画像データと、第１の眼科検査装置によって取得された被検眼の正面画像である第１の正面画像データであって前記第１のマップ画像データと対応付けされた第１の正面画像データと、とを記憶部から取得し、
前記第２の画像データとして、第２の眼科検査装置によって取得された被検眼のマップ画像である第２のマップ画像データと、第２の眼科検査装置によって取得された被検眼の正面画像である第２の正面画像データとを記憶部から取得し、
前記第１のマップ画像データと、前記第１の正面画像データと、前記第２のマップ画像データと、前記第２の正面画像データとを重ね合わせたレジストレーション画像を作成し、出力することを特徴とする請求項１～４のいずれかの眼科画像処理装置。
【請求項６】
請求項１の眼科画像処理装置において、
前記第１の眼科検査装置は、眼科用ＯＣＴデバイスであって、前記第２の眼科検査装置は、視野検査装置であり、
前記画像処理手段は、
前記眼科用ＯＣＴデバイスによって取得された被検眼のＯＣＴ二次元画像である第１の画像データと、前記視野検査装置によって取得された被検眼のマップ画像である第２の画像データとを重ね合わせたレジストレーション画像を作成し、出力することを特徴とする眼科画像処理装置。
【請求項７】
請求項６の眼科画像処理装置において、
前記ＯＣＴ二次元画像は、ＯＣＴのエンファイス画像データであることを特徴とする眼科画像処理装置。
【請求項８】
請求項７の眼科画像処理装置において、
前記エンファイス画像データは、特定の層に関するエンファイス画像データであることを特徴とする眼科画像処理装置。
【請求項９】
請求項７の眼科画像処理装置において、
前記エンファイス画像データは、ＯＣＴモーションコントラストエンファイス画像データであることを特徴とする眼科画像処理装置。
【請求項１０】
前記画像処理手段は、
前記第１の眼科検査装置及び前記第２の眼科検査装置とは異なる第３の眼科検査装置によって取得された被検眼の画像データである第３の画像データと、第１の眼科検査装置によって取得された被検眼の画像データである第１の画像データとを重ね合わせたレジストレーション画像を作成する画像処理手段であって、
前記設定手段は、前記第１の画像データに重ね合わせる画像の画像種別を、前記第２の画像データと前記第３の画像データとの間で変更可能であることを特徴とする請求項１～９のいずれかの眼科画像処理装置。
【請求項１１】
複数の眼科検査装置によって取得された被検眼の画像データを処理する眼科画像処理装置において実行される眼科画像処理プログラムであって、
前記眼科画像処理装置のプロセッサによって実行されることで、
第１の眼科検査装置によって取得された被検眼の画像データである第１の画像データと、第２の眼科検査装置によって取得された画像データである第２の画像データとを重ね合わせたレジストレーション画像を作成する画像処理ステップと、

前記レジストレーション画像を構成する前記第１の画像データ及び前記第２の画像データにおける画像種別を設定する設定ステップと、を前記眼科画像処理装置に実行させ、

前記画像処理ステップは、前記設定手段によって設定された画像種別に対応する前記第１の画像データ及び前記第２の画像データを重ね合わせたレジストレーション画像を作成し、出力することを特徴とする眼科画像処理プログラム。